

No. 2020-52

発行: 2020年7月20日

政府からの要請に対応

ニトリルゴム薄手手袋の生産能力を200万双／月に増強

住友ゴム工業(株)は、政府からの要請に対応するため、マレーシア工場のニトリルゴム薄手手袋の生産能力を200万双／月に増強することを決定しました。増産の開始は2021年5月を予定しており、国内の医療機関や食品メーカー工場などを中心に供給していきます。



マレーシア工場



ニトリルゴム薄手手袋(イメージ)

当社手袋事業は今回増強を決定したマレーシア工場とタイなどの協力工場で生産、海外・日本国内で販売を行っています。ニトリルゴム薄手手袋は医療機関や食品メーカー工場などさまざまな場所で使用されており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い需要が高まっています。今年4月には、医療支援として、97,500双を日本政府に寄付しました*。

このたび、政府の「海外サプライチェーン多元化等支援事業補助金」を活用することで、設備投資を拡大し、200万双／月の生産体制を構築します。

今後も需要に対応できるよう、安定的な供給体制の整備に努めていきます。

<マレーシア工場概要>

所在地：マレーシア ケダ州スンガイペタニ市

生産品目：ゴム手袋（家庭用、作業用）、タイヤパンク修理剤

操業開始：1981年

投資総額：1億5千万円

※当社リリース「新型コロナウイルス感染症対策のため医療支援としてゴム手袋を提供」(2020年4月)

https://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2020/sri/2020_036.html#

以上